



レスポンシブル・ケア マネジメント

「エコ・ファーストの約束」進捗状況

住友化学は2008年11月より環境省の「エコ・ファースト制度」に参画しています。化学企業のリーディングカンパニーとして法令遵守の徹底はもとより、レスポンシブル・ケア活動の一層の充実に努めながら、環境大臣と約束した「エコ・ファーストの約束」の達成を目指しています。



結果 ● 順調／○ おおむね順調

化学物質管理とリスクコミュニケーション

製品の安全性再評価、リスク評価の実施

- ・当初計画した対象物質全ての安全性再評価、537件のリスク評価を終了し、安全性要約書として41件を公開しました。
(<http://icca.cefic.org/>)



「LRI^{※1}」への取り組み

- ・日本化学会議のLRI研究事業に、運営委員会の委員、企画管理部会および研究推進パネル^{※2}のメンバーとして積極的に参画し、研究推進を図りました。

情報公開およびコミュニケーションの充実

- ・住友化学レポート、サステナビリティ データブック、環境・安全レポート(全工場)、地域広報紙などの発行、HPでの情報公開、出前授業、インターンシップ、周辺地域の方々との対話などを実施しました。

環境負荷の低減につながる管理技術の開発・応用、安全で安心される排水処理の実現

工場から排出される多様なプロセス用水の評価方法の標準化、適切な排水処理方法の検討

- ・製品製造に伴い発生する新規プロセス排水などについて、各工場の排水の評価方法および処理方法の実態を踏まえ、必要な標準化・最適化の検討を継続しています。



微生物叢解析、微生物固定化などの自社技術を活用した活性汚泥処理の高度化

- ・各工場が運転管理している活性汚泥の構成菌叢について、遺伝子解析手法を用いた解析を行うとともに、構成菌叢と活性汚泥処理の運転条件との関連付けの検討に取り組んでいます。また、長期間にわたる工業化運転を開始したプロセス排水に向け、微生物固定化技術を活用した活性汚泥処理についての課題の抽出・対応の検討にも取り組んでいます。

持続可能な社会の実現に向けた貢献

Sumika Sustainable Solutions スタート

- ・地球温暖化対策や環境負荷低減に資する製品・技術等を社内認定する取り組みを開始しました。これまでに合計44製品・技術が認定され、これらの売上総額は3,357億円(2017年度連結)で、ライフサイクルを通じた温室効果ガスの削減貢献量^{※3}は約5,300万トン(CO₂換算、2020年度予測値)となりました。



エネルギー効率の改善

- ・エネルギー効率の改善に努めた結果、2017年度における全社エネルギー消費原単位は、前年度比4.0%改善し、エネルギー起源CO₂排出量原単位は2005年度比で約20.4%改善しました。

社内外のステークホルダーとの対話

- ・持続可能な社会の実現に向けた企業による貢献の重要性、当社の関連取り組みを社内外のステークホルダーへ説明し、対話を通じた相互理解を深めました。

※1 LRI(Long-range Research Initiative) :

化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する研究の長期的支援活動

※2 研究推進パネル :

新規リスク評価手法の開発と評価などに関する研究を専門家に委託。研究成果について報告会を開催

※3 日本化学会議、ICCAのガイドラインに基づき、2020年度に販売されると仮定した当該認定製品がライフサイクルを通じて温室効果ガス削減に貢献する量を推定したもの